

ニュースクリップ & 映像教材

- 平成18年度（第33回）「全国自作視聴覚教材コンクール」に111作品が応募
- 2006年（第53回）教育映像祭中央大会
- 平成18年度「子ども霞が関見学デー」実施
- 青少年教育フォーラム研究紀要第7号投稿原稿募集
- 第33回教育工学研修中央セミナー・IMETSフォーラム2006
- 平成18年度（2006年度）大阪府放送・視聴覚教育研究会夏期研修会
- 第5回全国こども科学映像祭・作品募集

協会情報

■平成18年度（第33回）「全国自作視聴覚教材コンクール」に111作品が応募

（財）日本視聴覚教育協会主催、文部科学省後援による標記コンクールの今年度参加作品は、111作品にのぼった。内訳は以下の通り。

〈部門別〉

小学校部門（幼稚園を含む）

47作品

中学校部門

16作品

高等学校部門

2作品

社会教育部門

46作品

〈種別〉

ビデオ

73作品

CD-ROM

24作品

スライド

4作品

紙しばい

7作品

TP

1作品

その他（パネルシアター等）

2作品

■2006年（第53回）教育映像祭中央大会

（財）日本視聴覚教育協会は、毎年開催している教育映像祭のうち中央大会（「視聴覚教育功労者表彰」「優秀映像教材選奨入選作品表彰式・発表会」「全国自作視聴覚教材コンクール表彰式・発表会」）を下記の要領にて同日に開催する。

〈日時・場所〉

平成18年9月22日（金）10:00～
東海大学校友会館（東京都千代田区霞が関3-2-5霞が関ビル33F）

文部科学省情報

■平成18年度「子ども霞が関見学デー」実施

文部科学省では子どもたちが親の職場を見学することを通して、親子のふれあいを深め、広く社会を知る機会とするため、各府省庁の協力のもと「子ども霞が関見学デー」を実施する。

〈日程〉

平成18年8月23日（水）・24日（木）

〈対象〉

全国の小・中学生（原則として保護者同伴）

〈内容〉

各府省庁（内閣府・文部科学省・総務省・財務省・警察庁他）ごとの特色を生かし、子どもたちを対象に、さまざまプログラムを設け、一斉に「子ども霞が関見学デー」として実施。当日は、子どもたちの興味にあわせて霞が関を自由に歩くことができるよう、参加者には各府省庁等のプログラムと地図が入った「子ども見学パスポート」を配布し、併せてスタンプラリーを実施する。

〈参加申し込み〉

事前申し込みが必要なプログラムと、当日でも参加できるプログラムがあるので、詳細は文部

科学省のホームページにて確認。

<http://www.mext.go.jp/>

〈問い合わせ先〉

文部科学省生涯学習政策局生涯
学習推進課 TEL 03-6734-2092

AV情報

■青少年教育フォーラム研究紀 要第7号投稿原稿募集

〈独〉国立青少年教育振興機構国立オリンピック記念青少年総合センターでは、青少年教育の振興に資するため、広く青少年教育関係者から青少年教育に関する理論や実践的な調査研究の成果を募り、その発表の場とすることを目的として、研究紀要を年1回発行しており、今年度も投稿原稿を下記の要領にて募集する。

〈テーマ〉

青少年教育に関するもの。

- ①青少年教育に関する課題解決のための実証的・先進的な取り組み ②地域のニーズや課題を踏まえた効果的な実践活動の推進 ③青少年教育施設の役割 ④青少年の団体活動の意義やその成果

〈投稿原稿の種類〉

報告（調査報告、実践報告、事例紹介等）論文（研究ノートを含む）、資料（青少年教育に関する各種データ、情報等）

〈投稿の事前申し込み〉

事前に「投稿原稿連絡票」（ホームページ等により入手）に必要事項を記入し、平成18年9月8日（金）までに送付のこと。

〈原稿提出期限〉

平成18年10月13日（金）

〈問い合わせ先〉

〈独〉国立青少年教育振興機構国立オリンピック記念青少年総合センター調査研究課調査研究第1係 TEL 03-6407-7741～2

研究会情報

■第33回教育工学研修中央セミナー・IMETSフォーラム2006

「緊急提言 教師が主役の教育再興～結果が求められる日本の教育～」を研究主題として、〈財〉才能開発教育研究財団、教育工学研究協議会主催による標記研究会が開催される。

〈日時/場所〉

平成18年8月4日（金）9:30～17:00・5日（土）9:00～15:30 / 東京都港区御成門中学校（東京都港区西新橋3-25-30）

〈内容〉

講演：文部科学省初等中等教育局学力調査室室長 高口努氏他

〈参加費〉

12,000円、学生5,000円

〈問い合わせ先〉

IMETSフォーラム2006事務局
TEL 03-5437-5601

■平成18年度（2006年度） 大阪府放送・視聴覚教育研究会 夏期研修会

「授業がかわるメディアの活用—子どもたちの感動と確かな学力を—」をテーマに、大阪府放送・視聴覚教育研究会主催による標記研修会が下記のように開催される。

〈日時/場所〉

平成18年8月11日（金）9:00～16:40・12日（土）9:00～16:00 / アウリーナ大阪（大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12）

〈内容〉

講演：文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室長 合田哲雄氏他、分科会：6他

〈参加費〉

3,000円

〈申し込み〉

大阪府放送・視聴覚教育研究会
<http://www.e-housou.com/>より申し込む。

コンクール情報

■第5回全国子ども科学映像祭・作品募集

子どもの科学への関心を喚起することを目的に、〈独〉科学技術振興機構、〈財〉日本科学映像協会他による標記映像祭が行われる。映像祭に先立ち、子どもたちの映像作品を募集する。

〈参加作品〉

科学全般に関する映像。平成18年中に制作されたものであること。ビデオテープ（VHS/S-VHS）、8ミリビデオ、ミニDVで制作されたもの。1制作者1作品に限る。1作品の上映時間は、3分以上10分以内とする。

〈部門〉

小学生部門、中学生部門

〈賞〉

文部科学大臣賞（各部門1点）、優秀作品賞、選外佳作と特別賞（各部門数点）各賞には、賞状、トロフィー、副賞等が贈呈される。

〈入選作品の発表および表彰〉

平成18年12月下旬に発表、表彰式は、平成19年1月7日（日）日本科学未来館みらいCANホール（東京都江東区）の全国子ども科学映像祭において行われる。

短 信

■文部科学省生涯学習政策局内の異動

平成18年7月21日付にて、生涯学習政策局参事官併・内閣官房内閣参事官（内閣官房副長官補付）小川壮氏は、海洋研究開発機構経営企画室研究企画統括へ異動、後任には、後藤篤二氏（前日本郵政公社経理部門決算部長）が就任。

■財団法人日本放送教育協会では、平成18年7月1日、吉松英美氏に代わり、高月嘉彦氏が新理事長に就任。